

熊本地震で尊い命をなくされた方には申し上げる言葉もございませんが、心よりご冥福をお祈りいたします。お怪我をされた方、家屋の倒壊で住まいを失われた方、そして離れた土地で、ご親戚、ご友人の罹災に心を痛めておられる方々に心よりお見舞い申し上げます。どうかこの後、お大事にしてください。

私の父親も、母親、祖母も関東大震災を経験しています。子供の頃から家族の話で地震がどれほど悲惨な結果をもたらすかということも、9月1日が防災の日になっていいる必然性も熟知しております。

今日のように避難所を決め、防災訓練を何回も経験すれば、ある程度命が守られる確率は上がるでしょう。しかし、ドラマのように筋書きがあるわけもなく、思いがけず目的地への道が塞がっていたということも起こるのです。更に震度7を超える揺れなんて想像もつきません。また本震の後に余震が発生するというマニュアルは覆され、最初の地震から一日ほど経過した時の最大の揺れこそ本震だと言われても戸惑うばかりでしょう。数百回という記録的な揺れの中での生活は言語に絶します。しかし、自衛隊員や警察官が獅子奮迅の働きで多くの人の生命が守られ、ライフラインは日を追うごとに復旧されています。

当初、自衛隊員による炊き出しのおにぎりも3時間待って1個と言われていましたが、罹災された方々は列を作ったまま待っていました。これが世界から称賛される、極限状態でもマナーを守る日本人の姿なのですね。いよいよボランティアの募集が始まると、意外にも地元若者の学生さんが多いのですね。「誰を恨むものでもないのですから、出来るだけの事をしたいと思えます」と、友人と共に申し込みに来た女子高校生は、同級生が多く来ていたので嬉しかったと話していました。関東、東北からも迷惑をかけまいと自分の食糧や水を積んだ車で駆けつけました。世界各国からも義援金や物資が届いております。私たちは自分たちで出来るお手伝いをしようと、チャリティコンサートへの参加を計画しております。

さて、明治22年(1889年)にも熊本地震(金峰山地震とも呼ばれる)があったといわれています。日本に地震学会ができて初めての都市型地震だそうで、揺れは遠くドイツのポツダムにある重力計に記録されたともいいます。それから127年、地震が起きるなど考えもなかった平和な街は壊滅状態に陥り、亡くなられた方、お怪我をされた方、避難されている方で街の様子は一変してしまっただけです。

今回の地震でも名誉を傷つけたり、徒に恐怖を煽ったりするような流言飛語(デマ)が問題になりましたが、関東大震災の時、多くの方が悩まされた父は言っておりました。それは、日本で暮らす朝鮮半島の方が、井戸に毒物を投げ込んだという恐ろしい偏見に満ちた内容でした。それを信じた男たちは復興よりも自警団を作って見つけたら撲殺しろという身の毛もよだつ行動に打って

写真右/ゴールドデンウェーブ2016
写真左上/こどもミュージカル練習風景

4月12日出演 ザ・シワクチャーズ横浜
写真左下/伊那と横浜 姉妹シワクチャーズ



★中区ダンスフェスティバル2016★
6月18日(土) 関内ホール 大ホール
異ジャンルのダンスの祭典 26団体 400名
第1部 13時~15時 第2部 18時~20時30分
入場料 各部 600円 申し込みは赤い靴事務局まで



6/18(土) 中区ダンスフェスティバル2016
関内ホール 大ホール
異ジャンルのダンスの祭典
26団体 400名出演
7/10日(日) 杉田劇場
第29期あかいくつ定期演奏会
ATF・赤い靴ジュニアコーラス
7月23日(土)・24日(日)
横浜市民こどもミュージカル
「横浜キャッツ
〜ミケ・ラン・ジェロ〜」
関内ホール 小ホール
一般 1,800円
中学生以下 1,200円
8/22(月)
小黒恵子先生メモリアル
花とライオン児童合唱音楽賞
受賞合唱団 参加
赤い靴ジュニアコーラス
あかいくつテンダーフット
みどりアートパーク
JR 横浜線 長津田駅北口下車
9/21(水) 横浜音祭り 2016
前夜祭
横浜みなとみらいホール
大ホール 19:00
赤い靴ジュニアコーラス赤隊
横浜少年少女合唱団
イルミナートフィルハーモニー
オーケストラ
指揮 西本 智実
トランペット 日野 皓正
ディレクター 新井 鷗子(構成
作家・題名のない音楽会など)

出たのです。特に海外から来た住民が多かった横浜は殺気立っていたといま
す。身に覚えのない彼らは警察に保護を求めました。当時の鶴見警察署にも3
00人逃げ込んだといえます。その人たちを守る署長の大川常吉警部に対し1
000人の自警団員が詰め寄り「彼らはこんな瓶を持っていった、毒が入ってい
るに違いない、警察にいたる者を全員明け渡せ」と要求したといえます。「よしそ
の瓶を貸せ、俺が飲んでみる、何もなかったら皆帰ってくれ」と毒かもしれない
が、残った過激な者が更に激昂すると、署長は「まず俺を殺してから彼らを殺
せ」と言い放ち、警察署の前に座り込んだといえます。さすがに残りの自警団
も帰り、署長は皆を保護したということでした。後日、その代表から感謝状が
贈られ、いまだに命日にはその2世、3世が墓前に花を手向けているというこ
とです。私は錯綜の最中の署長の見事な対処に感動しました。
同じ時期、私の父は朝鮮から来たという牛乳屋の夫婦の危険を感じ、焼け跡
のトタンを彼らの上にかぶせ、彼らを探していた自警団に「家が燃えてしまっ
たので、鎌倉の親類を訪ねると自転車にリヤカーをつけて荷物と奥さんを乗せ
て行ったよ」と言って2人を守り通したのだそうです。父は何も言いませんで
したが、物心ついた頃、その夫婦から「お前のお父さんは私たちの命の恩人さ
」と言って父の行動を教えてくれたのです。地震があると必ずそのことを思い出
し、素晴らしい父を誇りに思っております。
実は私が通っていたバプテスト横浜教会の付属幼稚園は、木造からコンクリ
ートに建て直しましたが、震災のあった9月1日が落成式であったといえます。
そのことは戦後、幼稚園が再び立て直されるとき初めて知ったのですが、私は
子ども心に疑問がありました。みんなでスキップしているとどういいうわけか片
隅に集まってしまい、またボールを転がすと隅に転がっていくのです。当時の
園児に話すと、皆気がつかなかったと言いますが、牧師さんの「地震の影響で
やはり傾いていたのでしようね」という推測により長年の疑問が解けたのです。
さて、こどもミュージカルのレッスンも佳境に入りました。あの勢いのある
歌声を劇中ふんだんに聴けると思うと今から興奮します。楽しみにしています。
2016・4・29
団長 松永 春